

道徳科(人権)学習指導案

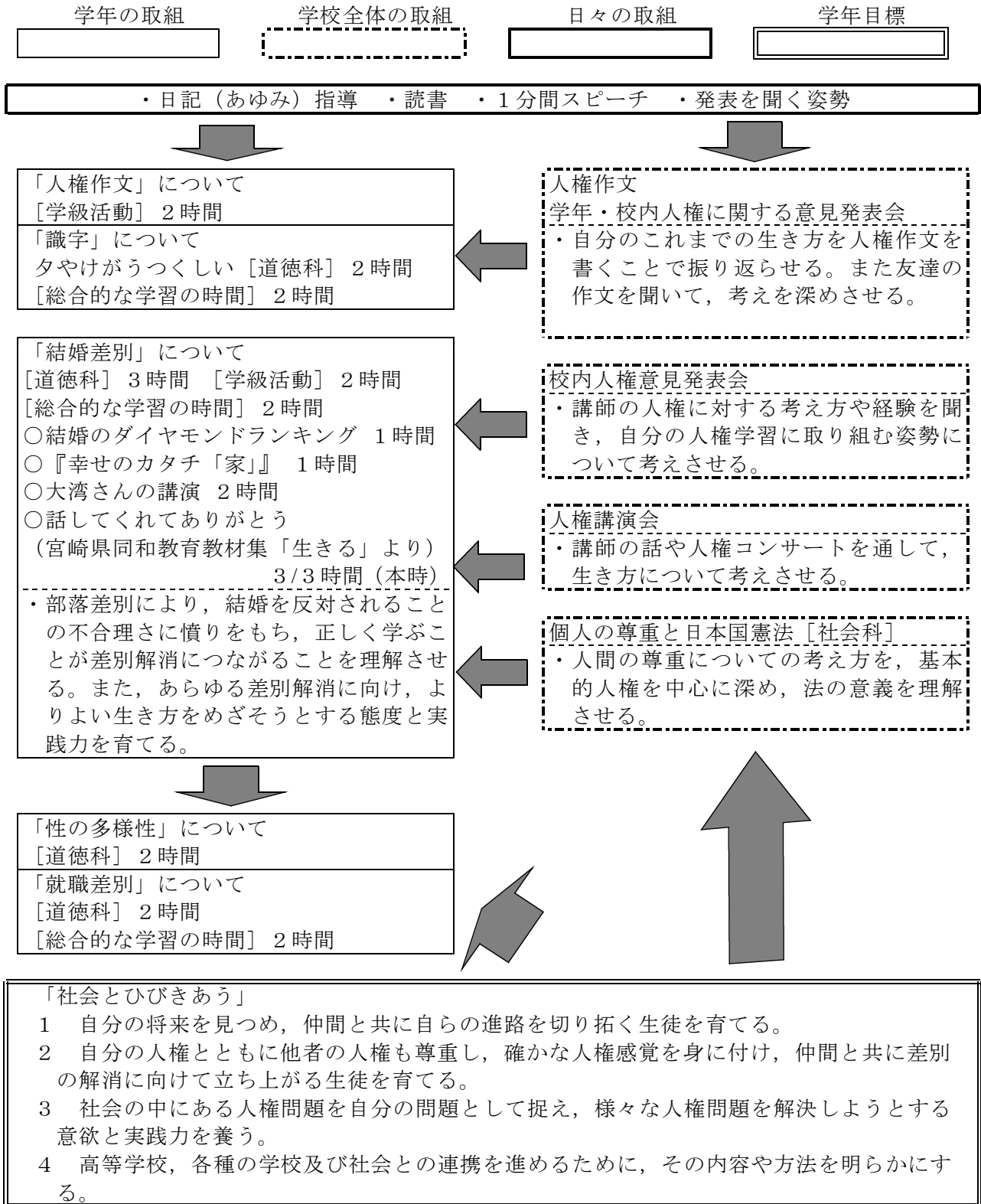
1 主 題 誇りうる生き方を求めて

2 主題設定の理由【省略】

3 ねらい

部落差別により、結婚を反対されることの不合理性に憤りをもち、正しく学ぶことが差別解消につながることを理解させる。また、あらゆる差別解消に向け、よりよい生き方をめざそうとする態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

登場人物の生き方を自分の生活や将来に重ね合わせるにより、差別解消に向けて自分がよりよく生きていこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	D- (22) よりよく生きる喜び
-------------	-------------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 個人の尊厳 法の下での平等
個人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返る。	○結婚差別について、学んだことを振り返らせる。
2 自分や自分の友人が結婚差別に出合った場合にどのようなするか、考え、発表する。	○教材に出てくる彼や彼の両親の生き方が、自分だけでなく相手も幸せにする生き方だということに気付かせる。 ①
差別を無くすために、自分の生活を振り返り、自分がめざす生き方について考えよう	
3 自分が、今後めざす生き方について考え、発表する。	○これまでの学習から、これからの自分の生き方について考えさせる。 ① ○自分がめざす生き方について発表させる。 ②

(4) 評価

- ・登場人物の生き方や仲間の意見に共感し、差別解消に向けて自分がよりよく生きていこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ①
- ・他者の意見を真剣に聞き、自分の思いや考えを発表することができたか。 (技能的側面) ②